

## 2022(令和4)年度 第2回初任者 SD 研修「自分の大学を知ろう！」 開催報告

日 時： 2022(令和4)年9月14日(水) 14:00～16:30

会 場： オンライン(ZOOM)

企画統括： 浅田 晋太郎氏(研修部会推進委員会 委員長、大阪女学院大学 常務理事・事務局長)

企画コーディネーター： 清水 栄子氏(研修部会推進委員会 委員、追手門学院大学 共通教育機構／教育支援センター 准教授)

宮原 秀明氏(研修部会推進委員会 副委員長、大阪学院大学 大学事務長)

司会進行： 葛西 崇文氏(大阪女学院大学 事務局 教務・学生課(教務担当) 課長)

講師： 佐藤 浩輔氏(研修部会推進委員会 委員、大阪体育大学 庶務部学長室担当)

申込者数： 14 大学 25 名(うち会員外 2 大学 2 名)

参加者数： 14 大学 25 名(うち会員外 2 大学 2 名)

内容詳細： 大学コンソーシアム大阪 HP 掲載の「シラバス」参照

実施結果： 同上掲載の「参加者アンケート」参照

企画・運営： 大学コンソーシアム大阪 研修部会推進委員会

今年度の第2回初任者 SD 研修は、オンライン(ZOOM)で実施した。冒頭に司会の葛西氏より開会挨拶と本研修の趣旨説明があった。



葛西氏

佐藤講師の自己紹介のあと、本日の研修のねらいや目標について確認を行い、本研修では大学の強み・弱みを把握しながら、大学職員の求められている役割やその重要性について学ぶことを目的とする旨共有された。

続いてアイスブレイクとしてグループワークを行い、受講者同士による自己紹介や心理テストの結果共有を行った。



佐藤講師

個人ワーク1では、ワークシートを用いて所属大学の建学の精神や概要について整理を行った。また個人ワーク2では、SWOT分析の手法を用いて、参加者が事前に考えてきた自大学の強み・弱みをワークシートで整理しながら俯瞰的に把握することに取り組んだ。

続いてのグループワークでは、前段の個人ワークで整理した「所属大学の概要」や「SWOT分析に基づく自大学の強み・弱み」について発表・共有した。



また、全体で各グループでの討議事項を共有しながら他大学と自大学の違いについて学んだ。これを通じて自大学の特徴をさらに深掘りし、新たな気づきや発見に繋げることができた。

まとめとして、佐藤講師より、今後少子化や大きな社会変容に伴って、大学職員に求められる役割が大きく変化していること、教員だけでなく、大学職員も「教える存在」であり、今後専門性をより高めていく必要があることについて触れられた。また今回把握した個々の大学の弱みや強みは、大学間の連携を進めていくことでお互いの弱みを補い、強みをさらに強めていくことができるとの付言があった。

閉会にあたり、受講者に向けて本研修のコーディネーターを務めた清水委員、研修統括の浅田委員長より下記のメッセージが贈られた。

#### 清水委員

受講生のみなさんの柔軟な対応は素晴らしかった。本日のワークを通じて自大学について客観的に「知る」ことができたと思う。学内でもSWOT分析に取り組んでみていただきたい。



清水委員

#### 浅田委員長

現在直接的に学生と関わる仕事でなかったとしても、高等教育の様々なことを学び続けることは大切である。ぜひ継続して取り組んでいただきたい。



浅田委員長

最後に、受講者アンケートを実施し、研修を終了した。受講者には後日「受講証明書」が配付された。

以上